



平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月12日

上場会社名 株式会社さいか屋 上場取引所 東
 コード番号 8254 URL http://www.saikaya.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 岡本 洋三
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 堀江 肇 (TEL) 046 (845) 6803
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	4,789	△3.2	13	△21.7	△22	—	△31	—
30年2月期第1四半期	4,946	△7.1	17	—	△12	—	△14	—

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 △42百万円(—%) 30年2月期第1四半期 5百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	△10.24	—
30年2月期第1四半期	△4.51	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

2. 平成29年9月1日付で普通株式10株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	11,912	—	1,506	—	—	12.6
30年2月期	11,958	—	1,548	—	—	13.0

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 1,506百万円 30年2月期 1,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	—	—	0.00	0.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,200	3.4	80	—	15	—	10	—	3.20
通期	20,800	4.8	165	—	40	—	30	—	9.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期1Q	3,135,314株	30年2月期	3,135,314株
② 期末自己株式数	31年2月期1Q	15,029株	30年2月期	14,930株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期1Q	3,120,328株	30年2月期1Q	3,120,982株

(注)平成29年9月1日付で普通株式10株につき普通株式1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	8
(1) 連結売上高の内訳	8
(2) 店別売上高(単体)	8
(3) 商品別売上高(単体)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成30年3月1日～平成30年5月31日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いており、雇用・所得環境も着実に改善しております。また、個人消費については、総じてみれば持ち直しの動きがあり、緩やかな回復基調が続いております。

百貨店業界におきましては、主力の衣料品が春物の季節商材で回復の兆しを見せたものの、低温の影響で夏物需要が減退しておりますが、高額消費とインバウンドが引き続き好調に推移した大都市圏は回復傾向にあります。一方、地方では依然厳しい状況が続いており、売上高の減少幅は拡大傾向にあります。

このような状況の下、当社におきましては、平成30年2月期を初年度とする3年間の新中期経営計画を策定し、「営業力の強化」、「CS徹底の推進」、「財務基盤の強化」の3つの基本戦略に対応するための施策実行に全社を挙げて取り組んでまいりました。

「営業力の強化」におきましては、藤沢店では昨年オープンしたニトリを初めとしたニューショップが入店客数の増加や収益の下支えとなり、本年3月・4月の売上高が前年同月を上回るなど、昨年度に実施した諸施策の効果が出て来ております。また、「ガーデンセンソユニコ」、「アラミス」、「幼児教室ミキハウスキッズバル」をオープンさせるなど、地元のお客様に支持されているショップの導入をおこないました。更に、藤沢店の営業力強化を進めるため6月に新規13ショップをオープンいたします。加えて地元に着した営業施策として、藤沢店では、神奈川の“みりょく”を集めた「神奈川の味力・魅力・美力フェア」を開催、横須賀店では地元神奈川発祥のブランドのうまいものや神奈川の食材を使ったおすすめの商品をご紹介します「地元発見春の神奈川フェア」を開催し、地元のお客様に大好評をいただきました。外商部門におきましては、お客様との結びつきを強めるため、横須賀店・藤沢店の外商担当者を増員し、更なる営業力の強化をはかりました。

「CS徹底の推進」におきましては、平成29年7月に立ち上げた全社的なCSプロジェクトを成功させるため、全社一丸となって取り組んでおります。

一方、財務基盤の強化におきましては、ローコストオペレーションを更に推進するため、各種経費の削減に努めるとともに、効果的な経費運用に引き続き取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、近隣商業施設のリニューアルオープンや、近隣百貨店のリニューアルに伴う閉店セールの影響に加え、6月にオープンする新規ショップのリニューアル工事の影響もあり、売上高は4,789百万円（前年同四半期比96.8%）、営業利益13百万円（前年同四半期比78.3%）、経常損失22百万円（前年同四半期は経常損失12百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失31百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失14百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産については11,912百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円減少しました。負債については、前連結会計年度末に比べて3百万円減少し10,405百万円となりました。純資産については、前連結会計年度末に比べて42百万円減少し1,506百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、平成30年4月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	655,188	506,899
売掛金	447,953	495,212
商品	618,951	635,710
貯蔵品	41,658	43,120
未収入金	81,502	157,662
その他	80,265	96,805
流動資産合計	1,925,520	1,935,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,517,038	3,446,196
土地	4,563,792	4,563,792
リース資産(純額)	87,657	76,418
その他(純額)	21,508	20,890
有形固定資産合計	8,189,997	8,107,297
無形固定資産		
その他	32,858	27,123
無形固定資産合計	32,858	27,123
投資その他の資産		
投資有価証券	378,348	355,798
敷金及び保証金	979,726	988,726
破産更生債権等	13,121	12,988
長期前払費用	389,146	435,894
その他	61,970	61,970
貸倒引当金	△12,450	△12,640
投資その他の資産合計	1,809,862	1,842,738
固定資産合計	10,032,719	9,977,159
資産合計	11,958,239	11,912,570

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	34,461	37,862
買掛金	1,418,108	1,555,416
短期借入金	250,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	424,300	353,220
未払法人税等	19,415	5,749
商品券	696,615	664,708
賞与引当金	38,039	57,511
商品券回収損引当金	660,647	659,200
ポイント引当金	30,842	35,870
その他	840,006	650,679
流動負債合計	4,412,434	4,420,216
固定負債		
長期借入金	5,009,729	5,001,389
繰延税金負債	157,057	150,371
退職給付に係る負債	397,712	406,301
資産除去債務	149,370	150,115
リース債務	25,217	19,647
その他	257,824	257,824
固定負債合計	5,996,912	5,985,650
負債合計	10,409,346	10,405,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,945,290	1,945,290
資本剰余金	1,637,078	1,637,078
利益剰余金	△2,041,194	△2,073,153
自己株式	△42,909	△42,955
株主資本合計	1,498,265	1,466,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,627	40,442
その他の包括利益累計額合計	50,627	40,442
純資産合計	1,548,892	1,506,703
負債純資産合計	11,958,239	11,912,570

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	4,946,154	4,789,286
売上原価	3,886,788	3,764,461
売上総利益	1,059,366	1,024,824
販売費及び一般管理費	1,042,006	1,011,240
営業利益	17,360	13,584
営業外収益		
受取利息及び配当金	54	40
受取手数料	671	630
貸倒引当金戻入額	1,000	—
その他	813	710
営業外収益合計	2,540	1,381
営業外費用		
支払利息	30,850	29,091
商品券等整理損	1,742	3,331
その他	94	5,268
営業外費用合計	32,686	37,690
経常損失(△)	△12,785	△22,724
特別損失		
固定資産除却損	1,716	1,883
投資有価証券評価損	—	8,023
特別損失合計	1,716	9,906
税金等調整前四半期純損失(△)	△14,501	△32,631
法人税、住民税及び事業税	1,809	1,522
法人税等調整額	△2,227	△2,194
法人税等合計	△417	△672
四半期純損失(△)	△14,084	△31,958
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,084	△31,958

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純損失(△)	△14,084	△31,958
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,087	△10,184
その他の包括利益合計	19,087	△10,184
四半期包括利益	5,003	△42,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,003	△42,143
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 連結売上高の内訳

	前第1四半期 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)		当第1四半期 (自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
㈱さいか屋	4,936,132	96.3	4,781,839	96.1	△154,293	96.9
アルファトレンド㈱	185,778	3.6	191,899	3.8	6,120	103.3
㈱さいか屋友の会	3,962	0.1	3,815	0.1	△146	96.3
小計	5,125,874	100.0	4,977,554	100.0	△148,319	97.1
内部売上高の消去	△179,719	—	△188,267	—	△8,548	—
合計	4,946,154	—	4,789,286	—	△156,868	96.8

(2) 店別売上高(単体)

	前第1四半期 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)		当第1四半期 (自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日)		前年増減・対比	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
藤沢店	2,604,107	54.1	2,601,014	56.0	△3,093	99.9
横須賀店	1,913,036	39.7	1,745,191	37.5	△167,844	91.2
川崎店	279,094	5.8	288,206	6.2	9,112	103.3
町田ジョルナ	17,935	0.4	12,365	0.3	△5,570	68.9
小計	4,814,174	100.0	4,646,778	100.0	△167,396	96.5
テナント及び手数料収入	121,958	—	135,061	—	13,102	110.7
合計	4,936,132	—	4,781,839	—	△154,293	96.9

(3) 商品別売上高(単体)

	前第1四半期 (自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日)		当第1四半期 (自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日)		前年対比・増減	
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年増減額 (千円)	前年対比 (%)
衣料品	1,457,831	30.3	1,373,642	29.6	△84,189	94.2
身回品	466,082	9.7	463,790	10.0	△2,292	99.5
雑貨	842,318	17.5	828,648	17.8	△13,670	98.4
家庭用品	125,518	2.6	121,297	2.6	△4,221	96.6
食料品	1,654,135	34.3	1,622,082	34.9	△32,052	98.1
食堂・喫茶	128,793	2.7	120,995	2.6	△7,798	93.9
その他	139,495	2.9	116,323	2.5	△23,171	83.4
合計	4,814,174	100.0	4,646,778	100.0	△167,396	96.5